

府中市



ふちゅこま

第41号

# かんきょう活動センターだより 令和4年度春号



浅間山で撮影

## コブシ

### 【モクレン科】

北海道から九州まで丘陵地や山地に自生する落葉低木。庭木や公園樹として植栽されている。早春に白い花を咲かせることから、春の訪れを告げる里山の代表的な花木で、種まきや、田植えの時期を知らせる花として、古くから農耕と密接な関係があった。花名のコブシは、果実が握り拳に似ていることに由来する。

### 花期

3月下旬～4月上旬

## 府中かんきょう塾2022がスタートします

かんきょう塾は、主に環境問題などを中心に、身近な話題から世界や自然環境などについても知見を広げ、地域での環境活動につながることを目的とした自主的な活動です。また、今年度は屋外での学習機会を増やしたり、グループでのワークショップ活動も実施したいと考えています。話を聞くだけではなく、体験を通じて、環境問題を分かりやすく学べる機会を提供する予定です。

本年度は、全7回の講座を予定しています。定員は30人で、4グループ程度に分けます。これにより、講師との会話や受講生同士で気軽に話しかることができるかと思えます。

▽対象 市民、市内在勤・在学の方

▽費用 650円以内（入園料等、実費）

▽定員 30人（応募者多数の場合は抽選）

▽問合せ

環境保全活動センター  
(335-4410)

※すでに申込み受付は終了。定員に満たない場合に追加募集をします。参加をご希望される場合はお問合せください。



研究者・専門家の講義



屋外での自然観察

## ▼令和4年度のプログラム（10月以降は予定）

日 時	内 容
5月14日(土) 午後1時～5時	開講式、講座「脱炭素社会での私たちの暮らし」(予定)
6月1日(水) 午前9時～午後4時	バス見学 小網代の森(神奈川県三浦市)
7月9日(土) 午前9時半～正午	自然観察 多摩川の植物とアレロパシー
9月17日(土) 午前9時半～正午	環境活動体験 浅間山の保全活動
10月15日(土) 午後1時～5時	講座 「エネルギーの地産地消」(予定)
11月12日(土) 午後1時～5時	講座 「諸外国の環境等紹介」(予定)
12月17日(土) 午後1時～5時	グループ発表、閉講式

※新型コロナウイルス感染症の拡大予防やその他都合により、講座によっては中止や変更となる場合がありますので、ご了承ください。

## 森キッズDAY in 浅間山 ～どんぐりde森づくり～

2019年以降、市内各所に広がりを見せている「ナラ枯れ病」によりコナラ・クヌギなどナラ属の枯死が多くなっています。この対策の一つとして枯れ始めた樹木などの伐採が進められています。この伐採により健全木がどんどん減少しています。この事態を改善するために、山に落ちているどんぐりを使い実生更新する再生活動が重要となります。

この作業を市民参加で行ってみようと、市と西武・武蔵野パートナーズ、浅間山自然保護会などが協働で「森キッズ DAY in 浅間山～どんぐりde森づくり」を開催しました。これは、自分たちの手で自然環境の保全を体験でき、地域の自然環境に愛着を持ち、浅間山の本来の里山としての環境を知ることにもつながります。

12月26日、1月10日の2回実施しましたが、どちらもすぐに定員となる人気でした。当日、寒いながらも参加した子供たちは元気に落ち葉の中からどんぐりを探したり、すでに発芽し1年程度たった苗なども掘り出しました（普段は山の植物の採取はできません）。そして自分たちでどんぐりや苗をポットに植えて、最後にパークレンジャーからどんぐり苗の育て方の説明やプリントをもらい家に持ち帰りました。これから一年間水やりや観察をします。一年後には再び浅間山に苗を持って集まり、浅間山に移植します。どんぐりがどのように育つか、一年後を想像するとワクワクします。



落ち葉を掻きわけてどんぐりを探します

パークレンジャーの説明を聞きます



見つけた苗をポットに植えました

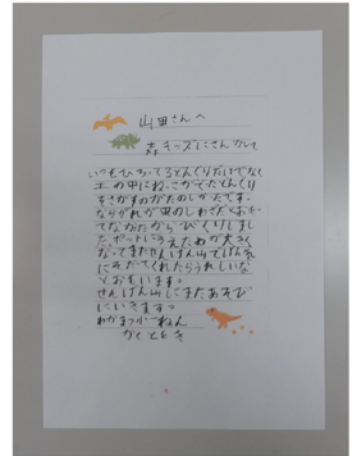
森キッズにさんかして

いつもひろってくるどんぐりだけでなく土の中にねっこがでたどんぐりをさがすのがたのしかったです。

ならがれが虫のしわざだとおもってなかったからびっくりしました。ポットにうえためが大きくなってまたせんげん山でげん気にそだってくれたらうれしいなとおもいます。

せんげん山にまたあそびにいきます。

わかまつ小一年 かくともき



かくともきさんのお手紙



浅間山のどんぐりを苗うえする！

「森キッズDAY in 浅間山～どんぐりde森づくり」

島谷 紘晴

1月10日の10時にイベントに参加しました。開かれたところは浅間山というところで、僕には初めての場所でした。

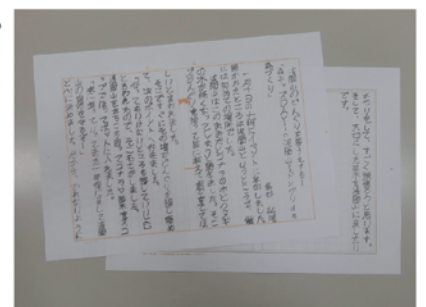
浅間山はこのままだとコナラの木とクヌギの木が無くなってしまおうと聞きました。そこでどんぐりを拾って苗に植えて家で育ててほしいと言われました。

そこで、すぐにその場でどんぐりを探し始めて、次のポイントへ行きました。

「行ってもいけないところも探していいよ。」と言われたので、そこもさがしました。浅間山をあちこち回ってコナラや苗木をスコップでほってポットに入れました。

「家に持って行ってまた1年後に戻して浅間山の自然を守るぞ！」

と心に決めました。だから、かれないように水やりをして、すごく頑張ろうと思います。そして、大切にした苗木を浅間山に戻したいです。



島谷 紘晴さんの感想文

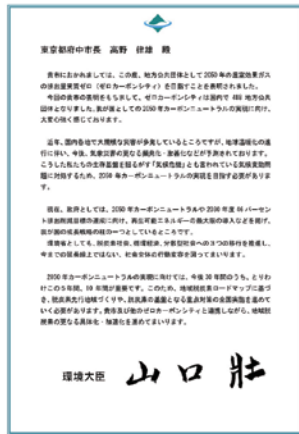
# ゼロカーボンシティの表明

## ■ゼロカーボンシティの表明

府中市は2050年までに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の実質排出ゼロを目指します。

世界ではパリ協定をはじめ、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の特別報告書などで、気温上昇を1.5℃に抑制するために、「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。この世界的な流れを踏まえ国でも「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取組み「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。また、全国の自治体でも同様な動きがあり、脱炭素社会の実現を目指す宣言「ゼロカーボンシティ表明」がされ始めています。府中市でもこれまで以上に環境施策を推進するため、令和3年11月24日にゼロカーボンシティを表明しました。

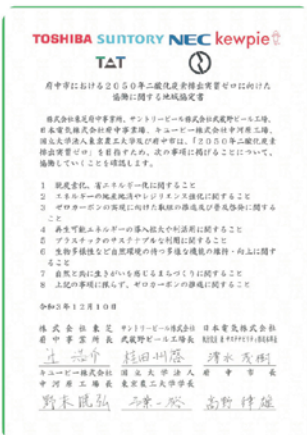
この表明に対して山口環境大臣からメッセージをいただきました。



環境大臣メッセージ

## ■府中市に事業所のある企業、キャンパスのある大学と地域協定の締結

さらに、市ではゼロカーボンシティを次世代に向けて作っていく「まちの姿」と捉え、今後、その実現に向けて市内の大学、企業と連携し、産学官の協働によるゼロカーボンの実現を検討するとしています。そして、令和3年12月10日に、株式会社東芝府中事務所、サントリービール株式会社武蔵野ビール工場、日本電気株式会社府中事業場、キューピー株式会社中河原工場、国立大学法人東京農工大学と府中市で、「府中市における2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた協働に関する地域協定」を締結しました。今後は、この協定に基づき進めていきます。



地域協定書

# 府中市環境審議会から答申



市長に報告する表副会長

府中市環境審議会から、令和4年3月24日に第2次府中市環境基本計画及び地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況についての答申書が高野市長に提出されました。

第2次府中市環境基本計画については、令和2年度の進捗状況が概ね順調に進捗していると判断いただきましたが、一方で、新型コロナウイルス感染症の流行により、今後、様々な施策に大きな影響を与えると想定されることから、コロナ禍における新しい生活様式に対応し、可能な限り施策の継続を図るよう要望がありました。

また、府中市地球温暖化対策地域推進計画について、モニタリングメニューの達成率が依然として低調な項目も見られることから、脱炭素型社会の実現に向けて、より確実に施策を実施する必要があること。さらに、環境に関わる市民活動や環境学習の促進等を担う府中市環境保全活動センターについては、当初予定していたあり方と、現状では乖離しているところもあり、府中市環境保全活動センターの役割等を含めた見直しを要望すると答申がありました。

今後、市では、この答申内容を踏まえ、引き続き環境保全活動の推進に取り組んでいく考えです。



「第2次府中市環境基本計画」と「地球温暖化対策地域推進計画中間見直し」の冊子

## 武蔵台緑地の植生保全作業 に取り組んでいます

市の北西、国分寺崖線に沿って広がる武蔵台緑地は、都市の中であって様々な生き物が息づく、緑豊かな自然環境となっています。

しかしながら、人の営みとの共生の中で育まれたこの樹林は、近年適切な管理の不足などにより本来の生態系環境が失われつつあります。

府中市では、長い歴史の中で培われたこの貴重な自然を後世に残すため、「武蔵台緑地植生保全管理ガイドライン」を作成し、地元ボランティアなどと力を合わせて、ガイドラインに基づく保全作業に取り組んでいます。



▲長年の管理放棄によりササや外来植物が繁茂し、ヤブのようになった樹林（左）※夏撮影に対し、人の手による保全種を残した選択的な刈り取り作業を実施（右）※冬撮影



▲崖線林特有の植物の重要な生育環境となる林縁を埋め尽くす植栽由来のシャガ（左）の除去作業を実施（右）



▲崖線の上部の平坦地に広がる市内で唯一の貴重なアカマツ林に対しては、アカマツの育成に適したやや乾燥した林床を確保するため、常緑樹の除伐や落ち葉掻きを実施

生態系の維持、回復を図る保全活動は一時的な実施で結果が現れるものではなく、継続的に取り組んでいくことが必要です。そのためには市民の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。

ぜひ一度現地を訪れ、武蔵台緑地の豊かな魅力を直接感じてみてください。



ふちゅこまからのメッセージ

まだまだコロナはいるぞこま！

## 府中市環境保全活動センター

■所在地 〒183-8703

府中市宮西町2丁目24番地  
府中市役所東庁舎7階

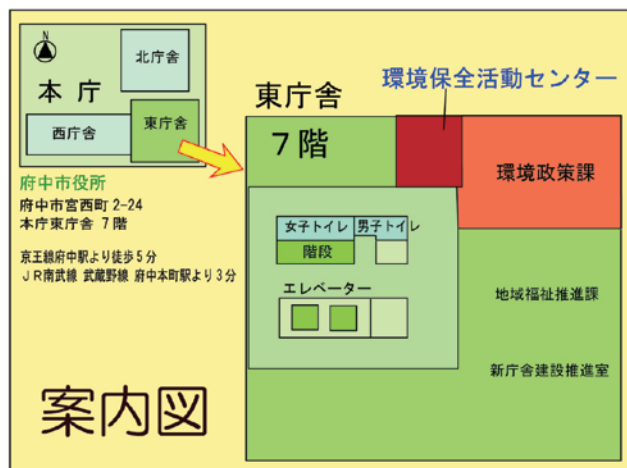
■電話番号 042-335-4410

■利用時間 午前9時から午後5時まで

■休業日 土曜日、日曜日及び祝日、年末年始  
(12月29日から1月3日まで)

ホームページ <https://fuchu-kankyo.com/>

メールアドレス [mail@fuchu-kankyo.com](mailto:mail@fuchu-kankyo.com)



### 【編集後記】

<時を経て> かつて多摩総合医療センター(旧・都立府中病院)への近道として、武蔵台文化センターの裏から武蔵台緑地を抜け上って行ったことがあった。

その頃は、光化学スモッグ注意報なるものが多発されはじめた1970年後半。“公害”が話題にはなるものの経済成長重視に押しやられていたような時代。武蔵台緑地はうっそうとしたヤブで薄暗く、不法投棄も。重苦しい雰囲気は漂い足早に通り返したい雰囲気だったと記憶する。

先日、おそらくそれ以来なので40年以上経つだろうか久しぶりに武蔵台緑地を上った。

すると木々の間からずいぶんと空が見えるようになっており明るい雰囲気に。足元も歩きやすくなったような。前を歩いているのは女子中学生。何やら談笑しながら下校途中のよう、通学路としても利用されているくらい安全なのだろう。

思ったより早く上りきり、視界が開けた。

整備された武蔵台緑地、ボランティアの皆さんに感謝です。  
(編集委員 I. I.)

発行日 令和4年4月25日

編集・発行 府中市環境保全活動センター  
広報活動部会

次回発行予定 令和4年7月

